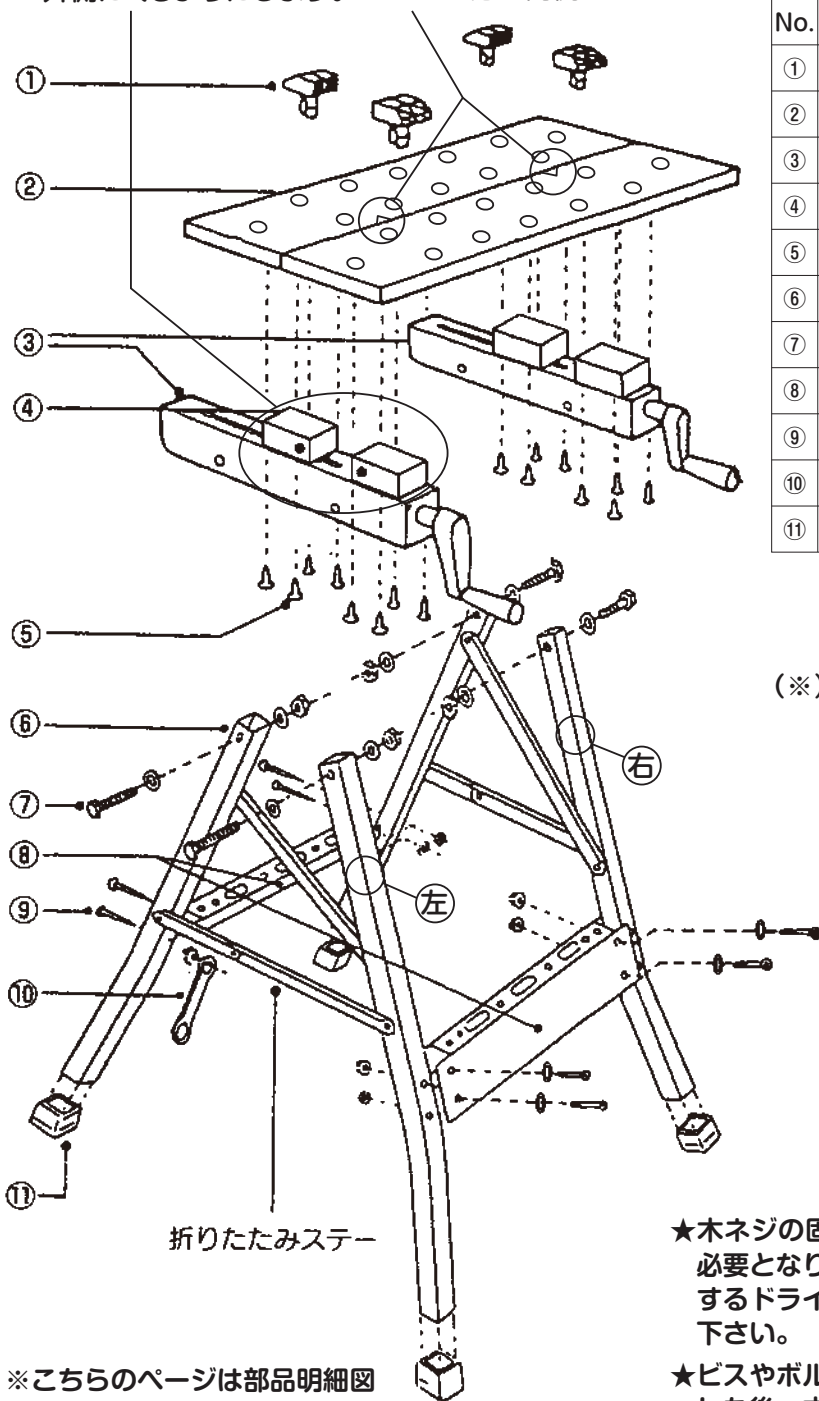


## 部品明細図

④テーブルサポートの可動ボタン(天板角度を調整するボタン)がある方を外側にくるようにします。

テーブル板は切り込み(V型のミゾ)がある方が内側になります。



No.	品名	数量
①	バ イ ス	4
②	テーブル板	2
③	スライドベース	2
④	テーブルサポート	4
⑤	木ネジ (テーブル取付用)	16
⑥	脚フレーム (※)	2
⑦	ボルトナット (太)	4
⑧	ツールラック	2
⑨	ボルトナット (細)	8
⑩	組立用スパナ	1
⑪	脚カバ ー	4

(※)脚フレームに貼付している  
右(左)シールに合わせて組み立て下さい。

★木ネジの固定には、ドライバー⊕No.2が必要となりますので、ご用意下さい。使用するドライバーは軸の長いタイプでご使用下さい。

★ビスやボルトナットは、仮締めで組み立てた後、本締めをして下さい。

★①ビスはお好みの位置にあわせてご使用下さい。

※こちらのページは部品明細図ですので、組立手順に関しては3ページの説明をご覧ください。

折りたたみステー

## 組立のポイント

- 組立部品が、きつい場合は、無理な力ではめたりせず、木づちやプラスチックハンマー等で軽くたたいて下さい。
- ネジやボルト類は、1本毎に強く締めずに、パーツ毎の全てのネジ・ボルトを軽く締め(仮締め)、最後に全てのネジ・ボルトを強く締めて下さい(本締め)。

## 組立説明

### 1脚カバーの取付け方法

- ⑥脚フレームに⑪脚カバーを差し込みます。  
⑪脚カバーには方向性があります。  
凸凹している面を上にした場合、一番短い箇所が内側、一番長い箇所が外側へ向くように取付けて下さい。(4か所)

### 2ツールラックの取付け方法

- ⑥脚フレームに⑧(右)シールが貼付してある方を前面の位置にくるようにし、⑧(左)シールの方向に向きを合わせます。
- ⑥脚フレームに⑧ツールラックの穴の位置に合わせて⑨ボルトナット(細)で固定して下さい。

### 3テーブル板の取付け方法

- ③スライドベースの④テーブルサポート4箇所を、天板角度を調整する可動ボタンが外側にくる状態に向きを合わせます。
- ④テーブルサポート4箇所それぞれを可動ボタンを押しながら内側に向けて起こし上げた状態にします。
- ③スライドベースに②テーブル板2枚をセットします。  
この際、②テーブル板の位置は裏側(小さなネジ穴がある方)を外側に、V型の溝がある方を下側の位置に置きます。  
また印刷面の板(定規、分度器が印刷してある板1枚)はハンドルレバー側の位置に置いて下さい。
- ②テーブル板と④テーブルサポートのネジ穴の位置を合わせ⑤木ネジ16本で固定します。  
木ネジの固定には、かなり力が必要ですが、木ネジの頭をつぶしたり、力を入れすぎてケガをしないよう、ご注意ください。  
電気ドライバーを使用すると、能率良く、簡単に作業ができます。

### 4脚フレームの取付け方法

- ②テーブル板を取り付けた③スライドベースを⑥脚フレームの上ののせます。  
この際、⑥脚フレームに⑧(右)シールが貼付してある方をハンドルレバー側の位置にくるようにして下さい。
- 穴の位置に合わせて、⑦ボルトナット(太)を通します。(平座金は両側に通して下さい)  
締め付けの際は、メガネレンチ13mmを2本用意して、ボルトとナットの両側から締め付けて下さい。  
または、ナットを⑩組立用スパナで固定させた状態で、ボルト(頭が+形状)をドライバー⊕No.2で締めつけて下さい。  
(注2) ⑦ボルトナット(太)は、あまり強く締め付けますと、折りたたみが困難になります。

### 5組立後の点検内容

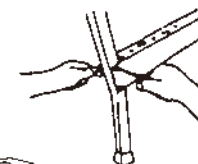
1. 工作台全体がねじれたり変形が無いでしょうか。
2. ネジ、ボルト等の締め付けは十分でしょうか。
3. ⑥脚フレームは折りたたみステーが直線になるまで、確実に開いた状態でしょうか。

### 6バイスの取付け方法

- ①バイスが必要な場合は、②テーブル板の穴に任意で差し込み、ご使用下さい。  
※木製テーブルのため、テーブル板の穴サイズに多少のバラツキがあります。①バイスをテーブル板に差し込む際、穴がきつい場合は木づち・プラスチックハンマー等で数回たたいて下さい。  
外す場合は下側からたたいて下さい。



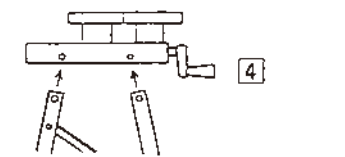
2



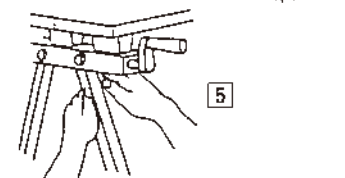
3



4



5



6

